

第 21 回

熊本県議会

国際スポーツ大会推進特別委員会会議記録

平成31年3月8日

開 会 中

場 所 第 1 委 員 会 室

第 21 回 熊本県議会 国際スポーツ大会推進特別委員会会議記録

平成31年3月8日(金曜日)

午前10時00分開議

午前10時58分閉会

本日の会議に付した事件

- (1) 2019 女子ハンドボール世界選手権
熊本開催に関する件
- (2) ラグビーワールドカップ 2019 熊本
開催に関する件
- (3) 2020 東京オリンピック・パラリン
ピック競技大会に関する件
- (4) 国際スポーツ大会の成功に向けた取
り組みに関する件
- (5) 付託調査事件の調査の終了について

出席委員(15人)

委員長 湊 上 陽 一
副委員長 高 野 洋 介
委員 藤 川 隆 夫
委員 城 下 広 作
委員 松 田 三 郎
委員 吉 永 和 世
委員 池 田 和 貴
委員 溝 口 幸 治
委員 西 聖 一
委員 内 野 幸 喜
委員 橋 口 海 平
委員 楠 本 千 秋
委員 中 村 亮 彦
委員 松 野 明 美
委員 吉 田 孝 平

欠席委員(なし)

委員外議員(なし)

説明のため出席した者

国際スポーツ大会推進部
部長 小 原 雅 晶
政策審議監兼

国際スポーツ大会推進課長 寺 野 慎 吾
知事公室

政策審議監 白 石 伸 一

くまモングループ課長 小 金 丸 健

総務部

人事課長 小 原 雅 之

企画振興部

地域・文化振興局長 水 谷 孝 司

首席審議員兼企画課長 内 田 清 之

地域振興課課長補佐 受 島 章 太 郎

文化企画・世界遺産

推進課長 西 尾 浩 明

健康福祉部

首席審議員

兼健康福祉政策課長 沼 川 敦 彦

障がい者支援課長 永 友 義 孝

環境生活部

政策調整審議員

兼環境政策課課長補佐 野 中 眞 治

自然保護課審議員 板 橋 麻 里

商工観光労働部

総括審議員兼政策審議監

兼商工政策課長 中 川 誠

観光経済交流局長 原 山 明 博

観光物産課長 上 田 哲 也

国際課長 波 村 多 門

農林水産部

農林水産政策課審議員 徳 永 浩 美

流通アグリビジネス課長 井 上 克 浩

土木部

政策審議監 平 井 宏 英

首席審議員兼監理課長 藤 本 正 浩

都市計画課審議員 伊 東 貢

教育委員会

教育理事 山 本 國 雄

教育政策課長 江 藤 公 俊

体育保健課長 西 村 浩 二

警察本部

参事官兼警務課長 開 田 哲 生
参事官兼生活安全課長 中 島 真 一
参事官兼地域課長 木 庭 俊 昭
交通規制課長 大内田 朗 二
理事官兼警備第二課長 奥 村 一 精

事務局職員出席者

政務調査課課長補佐 岩 永 千 夏
政務調査課主幹 植 田 晃 史

午前10時00分開議

○淵上陽一委員長 ただいまから第21回国際スポーツ大会推進特別委員会を開催します。

なお、本委員会に1名の傍聴の申し込みが
あっておりますので、これを認めることと
いたします。

それでは、議事に入ります。

お手元に配付しております本日の次第に従
い、まず執行部から一括して説明を受け、そ
の後、質疑は議題ごとに行いたいと思いま
す。

なお、委員会の運営を効率的に行うため、
説明につきましては着座にて簡潔にお願い
いたします。

○小原国際スポーツ大会推進部長 説明に先
立ちまして、女子ハンドボール世界選手権大
会のPRのために制作いたしました街灯バナ
ーに関しおわびを申し上げます。

多くの方にハンドボールの特徴や魅力を伝
えられればとの思いで、33種類のコピー付き
バナーを制作し、昨年末から熊本市中心市街
地に掲示をいたしました。

その後、3月に入ってから、このうち2種
類のコピーについて御批判をいただきました。

不快な思いをされた方がいらっしゃるこ
から、批判の対象となっておりますバナーを
撤去し、大会公式ホームページにおわびの文
書を掲載いたしました。

制作の過程において、表現についての配慮
が不十分であったことを深く反省し、おわび
申し上げます。

今後、広報物等の制作に当たっては、皆様
に広く共感していただける内容、表現となる
よう、職員の研修を行うとともに、案件に応
じて庁内関係課の意見も聞くなど、多角的な
視点をもってチェックを行ってまいります。

多くの皆さんに楽しんでいただける国際ス
ポーツ大会となるよう、しっかりと取り組ん
でまいりますので、引き続き御支援のほどよ
ろしくお願い申し上げます。まことに申しわ
げございませんでした。

○淵上陽一委員長 それでは、議題1、2019
女子ハンドボール世界選手権熊本開催に関す
る件について、説明をお願いします。

○寺野政策審議監 まず本日の資料でござい
ますけれども、厚手の本資料と別添の国際ス
ポーツ関連事業一覧、2冊で説明させていた
だきます。

それでは、本資料に沿いまして、前回の委
員会からの変更点などを中心に御説明させ
ていただきます。

議題1の、2019女子ハンドボール世界選手
権についてでございます。

まず、1ページの大会概要をごらんくださ
い。

(3)の試合数でございますけれども、全部
で96試合。内訳としまして、予選ラウンドが
7日間、60試合、メインラウンド・決勝ラウ
ンドが6日間、36試合実施することとなりま
した。

次に、(5)の参加チームでございます。全
部で24チームが参加しますが、12月以降順次
参加国が決定しており、現在、表に記載して
おります14チームの出場が決定しておりま
す。6月ごろまでには、残り10チームが決定
する予定です。

2ページをお開きください。

チケット販売状況でございます。チケット販売第1弾としまして、1月17日まで準決勝、決勝、各会場パッケージを対象としたオフィシャル先行抽選販売を実施いたしました。決勝戦のコートサイド席など、一部抽選となったものがありました。申し込みは販売枠の7割程度で、全体で約2,000枚を販売したところでございます。

現在、第2弾としまして、6月20日までオフィシャルサイトでの先行先着販売を実施中です。前回販売しました準決勝、決勝の1日券、各会場のパッケージに加えまして、日本戦が予定されておりますパークドームの予選1日券と、メイン会場のパークドーム熊本にのみ設置する、飲食付きで観戦できます「ホスピタリティチケット」を販売しております。チケット料金は、3ページ記載のとおりでございます。

次に、4ページをごらんください。

組み合わせ抽選会の開催です。通常「ドロー会議」と申しています。

参加24チームの確定後、これらの4チームを4つのグループに分ける組み合わせ抽選会を開催することとなりました。6月21日金曜日に、東京銀座にあります観世能楽堂で行うこととしております。

次に、中段の大会ボランティアでございます。

昨年11月まで行った一次募集の結果、831名の方から応募をいただいております。高校生や大学生、主婦の方など幅広い世代からの応募がありまして、一部の方には昨年開催しましたアジア選手権でも活躍いただいたところでございます。

引き続き、4月開始予定の二次募集に向けまして、既存のボランティア団体や企業、教育機関などと連携しまして参加者を募るとともに、地域の公民館講座などによりまして多くの方々がボランティアに興味を持ち、参加

していただけるよう取り組みを進めていくこととしております。

また、ボランティアに応募された方々に対しましては、研修や交流の場を設けるなど、ボランティアの方々が存分に活躍できる環境を整えてまいります。

次に、5ページ中段の女子ハンドボール世界選手権大会を大成功させる会の設立でございます。これにつきましては、昨年の委員会で御説明しましたが、その後の状況を報告します。

本会は、大会の成功に向けまして全国的な応援組織を発足して、オールジャパンでの盛り上げを図るという趣旨のもと、昨年12月18日、東京で開催しました。会には、発起人の元日本銀行総裁で現在一般財団法人キャノングローバル戦略研究所理事長の福井俊彦様を初め、政界、財界、競技団体などから約150名の方々に御参加いただきました。

福井さんの冒頭の挨拶の中で、成功はもちろんのこと、大成功させましょうという言葉がございまして、それがももとの「成功させる会」から「大成功させる会」と、名前が変更になっております。

6ページをごらんください。

来賓の山下全日本柔道連盟会長には大会アンバサダーの委嘱を行いました。また中ほど、鈴木スポーツ庁長官あるいは小山薫堂さんにも御出席いただくなど、大変盛況な会合となりました。

次に7ページの、会場整備でございます。

いずれの会場もおおむね計画的に整備・改修が進んでおります。

最近の状況としましては、パークドーム熊本のバリアフリー化改修工事が2月末に完了し、更衣室のシャワー、洗面台の改修やオストメイトの設置などを行っております。

また、アクアドームくまもとの既存大型ビジョンの改修につきましても、2月半ばに工事を完了したところでございます。

今後は、現在工事を進めております県立総合体育館の照明のLED化に加えまして、大型ビジョンの設置などの本設工事と各会場の仮設工事などを予定しております。

議題1については、以上でございます。

○淵上陽一委員長 次に、議題2、ラグビーワールドカップ2019熊本開催に関する件について、説明をお願いします。

○寺野政策審議監 それでは、11ページをお願いいたします。

ラグビーのチケット販売の状況でございます。

中段以降になりますけれども、昨年11月12日まで行われました第一次一般抽選販売結果につきましては、組織委員会の発表によりますと、全世界236カ国の国と地域から、総数200万枚以上の申し込みがありまして、これまで全ての販売期間を含めると、総申し込みは450万枚以上となっております。

熊本会場を含む開催12都市の販売状況の詳細については公表されておきませんが、熊本の会場の売れ行きも好調と聞いております。現在3月31日まで第二次一般先着販売を実施しております。フランス対トンガ戦につきましては完売しておりますが、ウェールズ対ウルグアイ戦はまだ残っている席もあるようなので、引き続き御協力をよろしくお願い申し上げます。

その後5月からは、第三次一般先着販売に加えまして、外国のチケットが戻る——ハンドバックと申しますけれども、それを踏まえましてと公式のリセールサービスが始まる予定となっております。

次に、12ページをお願いいたします。

キャンプの状況でございます。

熊本市で公認キャンプを行います4チームによる2回目の実施視察を、昨年9月から今月にかけて実施中でございます。昨年9月に

ウェールズ、10月にフランス、そしてことし2月にトンガ代表チームが視察のため来熊しております。試合会場や練習グラウンドなどの視察が行われまして、おおむね好評を得ているところでございます。今月中旬には、ウルグアイ代表チームの視察が予定されております。

次に、ラグビーのボランティアでございます。

本県では、昨年10月にボランティア応募者に対するインタビュー、面接が実施されておきまして、それを踏まえてことし1月に組織委員会から採否結果が発表されておきます。概数でございますけれども、全国で1万3,000人、熊本会場で500人が採用されておきます。ことし2月には、採用されましたボランティアに対するオリエンテーションが実施されておきまして、活動内容の説明やプロモーション映像の上映が行われておきます。

続きまして、15ページをごらんください。

地域交流計画でございます。最近の動きとしまして、ウェールズにつきましては2月にウェールズ政府日本代表のロビン・ウォーカー氏が来熊されまして、知事表敬訪問のほかラグビーワールドカップ・ウェールズ戦が行われる陸上競技場などを視察されておきます。

フランスにつきましては、同じく2月に熊本市の出水南小学校におきまして、6年生を対象としたフランスを学ぶための国際交流会を実施しております。交流会には、当事務局から職員や、昨年夏から国際交流員として当部に在籍しておりますエステルさんが出席しまして、フランスの異文化理解やラグビーワールドカップ、女子ハンドボール大会の映像を通じました紹介を行いました。今後も機会を捉えて、このような取り組みを進めてまいります。

16ページをお願いします。

トンガ、ウルグアイにつきましても、両国

ともに熊本市、熊本県共同で地域交流計画を作成し、現在、国に申請しております。ことし1月、2月に、それぞれの国の駐日大使館を訪問しまして、ワールドカップ大会前から大会後まで継続した交流を行っていくことを確認したところでございます。

17ページをお願いします。

ラグビーの会場整備関係です。

おおむね計画的に整備・改修が進んでおりますが、大型スクリーンの新設工事につきまして、4番のところでございますけれども、3月6日の高野副委員長からの一般質問に知事がお答えしましたように、高力ボルトにつきましては4月末までに確保できる見込みとなっております。よって、大会開催に十分に間に合うスケジュールとなっております。

このほか、記者席等仮設工事を来年度予定しております。

議題2は、以上でございます。

○淵上陽一委員長 次に、議第3、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関する件について、説明をお願いします。

○寺野政策審議監 それでは、21ページをお願いいたします。

東京オリンピックのチケット販売の状況でございます。

ことし1月30日に、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会から、公式チケットの販売概要が発表されました。

ことしの春から、公式チケット販売サイトでの抽選申し込み受け付けが開始されることになっております。また、来年の春には、販売サイトに加え東京都内にチケット販売所が設置され、直接窓口での販売が行われる予定でございます。

チケットの種類は、一般チケット、車椅子ユーザー向けチケット、東京2020みんなで応援チケットがございます。

そのほか観戦チケットに、会場内のラウンジでの飲食サービスなどを組み合わせましたホスピタリティパッケージや観戦ツアーパッケージが予定されております。

なお、公式販売チケットで購入する場合には、これもID登録が必要となっております。

22ページをお開きください。

オリ・パラ関係の、キャンプ地誘致の状況でございます。

現在の本県の誘致状況は、表記載のとおりでございます。

熊本県がインドネシアのバドミントンチーム、熊本市がドイツの競泳チームの誘致が決定しております。

このほか、八代市、菊池市、玉名市がそれぞれ誘致に向けて交渉中で、県としましても関係国に関する情報の収集・提供を初め、大使館訪問や各国訪問に同行するなど、支援を行っているところでございます。

最近の動きは、次のとおりでございます。

まず、八代市が台湾のバドミントンチームの誘致に向け活動中で、1月に中村市長が台湾に行かれまして、トップセールスが行われております。

次に、菊池市は欧州の国などを対象に、ボート、カヌー競技の誘致活動を行っております。1月には、江頭市長が在日ニュージーランド大使館と在日スイス大使館を訪問し、トップセールスを行いました。

このほか、日本代表チームの動きとしまして、昨年12月にソフトボール女子日本代表が八代市で、また2月にはパラアイスホッケー日本代表が熊本市で、それぞれ強化合宿を行っております。

少し飛びまして、27ページをお願いいたします。

聖火リレーの状況でございますが、現在も組織委員会と調整中でございます。

全国の聖火リレーのルートにつきまして

は、ことしの夏ごろ組織委員会が公表すると聞いております。

おめくりいただきまして、28ページをお願いします。

東京都による熊本地震復興支援事業についてでございます。

まず、東京オリンピック・パラリンピック期間中のライブサイトの設置でございます。

昨年4月に、東京都から被災地でのライブサイトの一つとしまして、東日本大震災の被災地に加え熊本県で実施することが公表されました。

そして、ことし1月には本県でのライブサイトの設置場所が熊本城ホールに決定されたところでございます。

次に2番の、被災地子供観戦招待・復興祈念植樹事業でございます。

ことし2月に東京都から、被災地支援の新たな取り組みとしまして、次の2つの取り組みを行うことが公表されておりました。

1つ目は、被災地子供観戦招待です。

東北3県そして熊本県のジュニアアスリートや各地域代表の子供たちを大会観戦に招待したり、観戦とあわせたボランティア体験やアスリートとの交流活動などを実施することが予定されております。

2つ目が、復興祈念植樹です。東北3県と熊本県の復興のシンボルとなる樹木を、都が新設します——写真がございますけれども、有明アリーナで植樹することが予定されております。

議題3については、以上でございます。

○淵上陽一委員長 次に、議題4、国際スポーツ大会の成功に向けた取り組みに関する件について、説明をお願いします。

○寺野政策審議監 それでは、29ページをござらんください。

国際スポーツ大会の成功に向けた庁内連携

ということで、円滑な大会運営、観戦者数目標の達成、レガシーの構築の3つの成果の実現に向けまして、庁内各部署が連携しながら、それぞれの分野での取り組みを進めております。

その中で、来年度実施予定の国際スポーツ大会関連事業のうち、主なものを次の30ページに記載しております。

上段の、大会運営に係るものとしましては、当部のハンドボール、ラグビーの大会開催経費のほか、警察本部の各種テロ対策経費、総務部や教育委員会の学校観戦や一校一國運動に係る経費などとなっております。

また、下段のおもてなしにつきましては、外国人観光客の受け入れ環境整備や景観改善、県産品を使ったおもてなし、PR、熊本文化の発信に係る事業などが、各部において行われる予定でございます。

これらを含めまして、来年度の庁内全体の関連事業の総額は、一番下にありまして約38億円となっております。

詳細につきましては、別添資料でお配りしております関連事業一覧をござらんいただければと思います。

続きまして、31ページをお願いします。

経済波及効果でございます。

3月4日の溝口委員の代表質問でお答えしましたように、2つの国際スポーツ大会開催による本県への経済波及効果を試算しましたところ、女子ハンドボール大会が92億円、ラグビーワールドカップが98億円、合わせて190億円という結果となっております。この数値につきましては、下の表の①大会開催経費と②入場者数の推計から算出した消費支出額をもとに、産業連関表を用いて試算したものでございます。

①の、大会開催経費につきましては、2015年度から来年2019年度までの熊本国際スポーツ大会推進事務局の経費のみを、把握できる経費としましてその額を積み上げておりま

す。

②の、入場者数の推計でございますけれども、これは観戦者数の実人数ではじております。観戦者目標数との関係におきましては、ラグビーワールドカップのほうは入場者1人当たり1試合観戦と想定しております。観戦者数目標6万人としておりますが、女子ハンドボール大会のほうは1人で複数試合観戦することも想定しまして、入場者数に県内、県外、海外それぞれの観戦試合数を乗じまして、観戦者数目標30万人としております。

結果としまして、大会開催経費の少ないラグビーワールドカップのほうが女子ハンドボール大会よりも経済波及効果の額が多くなってございますが、これはラグビーワールドカップのほうが海外からの観戦客が多く、また長期滞在で消費支出額が多くなると見込まれることから、このような結果になったものと考えております。

次に、32ページをお願いいたします。

機運醸成に向けた取り組みでございます。

2019年男子ハンドボール世界選手権大会が、1月10日から27日までデンマークとドイツで開催されました。本県からも女子大会開催の参考とするため、2つのグループに分かれて両国を訪問しまして、大会運営やAD、警備の状況、ファンゾーンや都市装飾の様子などを視察するとともに、デンマーク、ヘアニングの決勝戦では、くまモンとともに女子大会のPRや記者会見などを行ったところでございます。

33ページをお願いいたします。

2019国際スポーツ大会を盛り上げる会の設立です。

これは、ラグビー、ハンドボール両大会の成功に向けまして、競技団体の県協会や県内の経済、商工団体等が中心となりまして、両大会を盛り上げる県民の応援組織を立ち上げたものでございます。3月3日には特別委員

会の皆様にも御参加いただきまして、ありがとうございました。

熊本市内で、設立の大会が開催されました。当日は、300名を超える方々に参加していただきまして、大変盛況な会となっております。

34ページをお願いいたします。

くまモンの熊本国際スポーツ大会PR行脚でございます。これは、くまモンが九州各自治体等を訪問しまして両大会をPRするもので、昨年9月の長崎、島原に続きまして、ことし1月には第2弾として、ウェールズのキャンプが決まっています北九州市を訪問し、PRを行ったところでございます。

次にPR活動でございます。

まず女子ハンドボールでございますが、35ページの上段、イベント関係でございます。

大会300日前となります2月3日に、イベントなどを行っております。

ハンドボール男子の日本選手権の決勝戦におきまして、女子ハンドボール大会のチケットをプレゼントする企画を実施しました。また同日、熊本とハンドボールを愛する人たちのファンサイト、くまモンハンド部を開設しております。キャプテンはくまモンで、専用フェイスブックのページ「いいね」を押すと入部することができます。今後、部員限定のオリジナル名刺や応援グッズをプレゼントするキャンペーンなどを展開する予定でございます。

おめくりいただきまして、36ページをお願いいたします。

3月1日からは、世界一スケールの大きなパス回し「PASS TO THE MOON」を開始しております。くまモンハンド部の第1弾の企画で、大会キャッチフレーズ「Hand in Hand」を具現化したプロジェクトでございます。

女子ハンドボール日本代表「おりひめJAPAN」にちなみまして、77個のボールのパ

ス回しによる総移動距離で、月までの距離約38万キロメートルを目指します。デジタルコンテンツであり、多くの方に参加いただくことにより、幅広いエリアの方々に大会の告知が可能になると考えております。

3月1日、パス回しで使用するQRコード付きのボール、k u m a m o o n b a l l を、くまモンハンド部キャプテンのくまモンが参加者に贈呈したところでございます。

次に、中段の都市装飾として、昨年12月末から熊本市内中心部に街灯バナーを設置しております。

37ページをお願いします。

関係団体との連携です。大会の機運醸成に向けまして、さまざまな団体から御協力をいただいております。1月には、熊本県浄化槽協会とフラッグス株式会社様から、トイレなどの消臭、抗菌用の機能性シートを贈呈いただきました。シートには、女子ハンドボール大会のPRが印刷されておまして、県庁舎や試合会場のトイレに貼付しているところでございます。

次に、ラグビーワールドカップ関係のPRです。まず、ニューイヤーイベントとしまして、1月19日からチケットの一般先着販売に合わせ、同日イベントを開催しました。熊本市電のラッピング電車の出発式や下通でのパネル展、ゆめタウン光の森でのステージイベントを行っております。38ページに、その状況を写真としてお付けしております。

次に39ページ、BBCの取材です。

イギリスの国営放送局BBCが、ラグビーワールドカップ取材のため、ラグビーウェールズ代表の元主将などとともに来熊しました。試合会場の陸上競技場や熊本城などの視察が行われております。現在行われているヨーロッパの6カ国対抗ラグビーを始めまして、大会前の期間に放映されると伺っております。

次に、③九州3県の合同PRでございま

す。

これは、フランス国内で開催されましたフランス代表のテストマッチの際に、スタジアム内の大型ビジョンを使いまして、ことしのワールドカップの際に九州でフランス戦が行われることをPRしたものでございます。

昨年11月に開催されましたフランス戦3試合におきまして、試合開始前、ハーフタイム、試合終了後に、それぞれ30秒の動画を放映しております。

次に、40ページをお願いいたします。

女子ハンドボール、ラグビーのPR活動です。

まず、都市装飾としまして、両大会の機運醸成のため、熊本県庁や市役所、阿蘇くまもと空港などにおいて、立て看板やバナーなどの都市装飾を実施しております。

このほか、40ページ、41ページにありますように、他団体の主催のイベントでのプロモーションや公民館での観戦講座を多数実施するなど、さまざまな機会を利用しまして両大会のPRを行っております。

当課の説明は、以上でございます。

続きまして、庁内各部局の取り組みにつきまして、関係課から御説明申し上げます。

○波村国際課長 私からは、海外からの誘客の取り組みについて説明いたします。

資料の42ページをお願いいたします。

海外からの誘客につきましては、ターゲット国を定めFIT対策、団体旅行対策、くまモンの活用など効果的な誘客に取り組んでまいります。

それでは、これまでの取り組みについて御説明いたします。43ページ以降に記載しております。

ここでは、前回の特別委員会以降の主な取り組みについて説明をいたします。

44ページをお願いいたします。

FIT対策でございますけれども、2番の

中の③でございますが、ラグビーワールドカップの強豪国でありますイギリス、フランスなどのメディアやインフルエンサーを招請して、熊本城、山村酒造などを取材していただいております。今後、情報発信をしていただくこととしております。

次に5番の①でございますが、こちらは元ウェールズのラグビーナショナルチームのスコット・クインネル氏を招請して、阿蘇やえがおスタジアムなどを訪問、熊本工業高校ラグビー部との交流などを行っております。

その後、既にファンの多いクインネル氏のSNSなどで情報を発信していただいております。

次に、5番の②をお願いいたします。

熊本市と連携いたしまして、欧米、豪向けのPR動画を制作しております。

熊本県版は、火、水、土、風の4大元素であるエレメンツをテーマに、多彩でダイナミックな熊本の自然を表現しております。

熊本市版は、ストリートをテーマにアーケードや路地裏を舞台に繰り上げられる、ディープで魅惑的な世界観を表現した動画を制作しております。昨日、正午からユーチューブで配信を開始しております。今後、広告配信等を行いながら、情報を拡散してまいりたいと考えております。

45ページをお願いいたします。

6番の⑤でございますけれども、フランスの雑誌社FIGAROを招請して、女子ハンドボール世界選手権のPRのため、ハンドボール会場があります熊本市、八代市、山鹿市を中心に、試合会場や八千代座、松浜軒などの観光施設を取材していただき、観光情報を発信していただくこととしております。

次に6番の⑥でございますが、オーストラリアの旅行社6社を招請して視察旅行を実施しております。城彩苑で、くまモンと熊本城おもてなし武将隊によるお出迎えを行い、あわせて商談会を開催しております。

続いて、少し飛びますけれども、52ページをお願いいたします。

29番でございます。

1月に、県とフランス観光開発機構とで、国際観光交流の促進に係る覚書を締結しております。今後、国際スポーツ大会を活用したプロモーション活動等により、相互交流の向上を図る取り組みを進める予定としております。

次に、30番の、くまモンによるフランス、デンマーク訪問、31番のアメリカ訪問ですが、くまモンが現地を訪問し、国際スポーツ大会開催等のPRを行っております。

続きまして、54ページから今後の予定について掲載しております。

この中で主な取り組みについて、御説明いたします。

まず3番でございますが、デジタルマーケティングによる情報発信でございます。動画配信等により認知度向上を図るとともに、データの収集・分析によるターゲティングなど、より効率的・効果的な情報発信に取り組むこととしております。

5番から8番にかけては、国際スポーツ大会の開催前、開催中、開催後の取り組みを掲載しております。

まず5番でございますけれども、大会開催前の対策としまして、ターゲット国のエージェント、メディア等と連携して、大会及び観光情報等の情報発信を行うこととしております。

55ページをお願いいたします。

6番及び7番は、大会期間中の取り組みでございます。

まず6番は、本県を訪れた観光客に観光地や飲食店の情報をSNSでハッシュタグをつけて情報発信していただくためのキャンペーンを企画予定でございます。

7番は、スポーツ大会の取材で本県を訪れるメディアを対象に視察ツアーを実施し、情

報発信していただくこととしております。

次に8番でございますが、大会開催後の対策、そして東京オリンピック・パラリンピック対策としまして、本県にインフルエンサーをお招きして、情報発信を行うこととしております。

次に9番でございますけれども、観光ビジネスチャレンジ支援事業として、民間事業者が取り組む新たな観光商品やメニューの開発支援を行うこととしております。

10番でございますが、ワールドカップ期間中のイベント民泊事業でございます。

イベント期間中の宿泊の不足に対応するため、住宅宿泊事業法に基づくイベント民泊を実施することとしております。

次に11番でございますが、祭りアイランド九州として、本年9月28日から29日にかけて九州、山口の祭りが、ここ熊本に集結しイベントが実施されることとなっております。

以上、今後も国際スポーツ大会の成功に向け、部局横断的に観光客の誘客、受け入れ環境整備そして熊本の魅力発信に努めていくこととしております。

私からの説明は、以上でございます。

○徳永農林水産政策課審議員 農林水産政策課でございます。

資料は、61ページをお願いいたします。

県産食材等の供給に向けた取り組みでございます。

前回報告以降の取り組みと、来年度の予定を中心に御説明いたします。

(ア)県内開催の国際スポーツ大会に向けた取り組みでございます。

61ページの写真は、女子ハンドボールアジア選手権のサヨナラパーティーでの展示です。県の形を模した約2メートルのオブジェで、約30種類の県産の花、果物、野菜などを使用しました。

次のページをお願いします。

③の2つ目の項目ですが、現在、地産地消協力店へ配布するフラッグを作成中です。右に、イメージの写真を掲載しております。

次の④ですが、県産畳表を使用した畳ベンチの増設・張りかえを、空港、駅等の交通拠点におきまして、順次、実施いたしました。

次のページをお願いします。

県内開催の国際スポーツ大会に係る来年度の取り組み予定です。

まず、農林水産物の各種PR事業を、国際スポーツ大会の開催時期に合わせるなど、関連づけて実施することとしています。

このほか主な取り組みとして、ファンゾーンへの県産食材等のPRブースの出展、歓迎パーティーでのPR、選手団への農産物の贈呈、ホテル等での生花の装飾によるおもてなし等を実施する予定です。

続きまして、(イ)東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みでございます。

①の、オリ・パラ選手村への飲食提供事業者に対する働きかけを引き続き行っております。

次のページをお願いします。

②から次のページの⑤まで、品目ごとのGAP等の推進状況を記載しております。

65ページ、中ほどをお願いします。

東京オリ・パラに係る来年度の取り組み予定でございます。

まず、供給実現に向けて売り込みとPRを強化してまいります。あわせて、調達基準を満たす品目と生産量の拡大を推進し、特に熊本県版GAPについては、1,000経営体の認証を目標に推進してまいります。

最後に、選手村併設のビレッジプラザに使用される県産木材については、ことし6月に納材を予定しております。

農林水産政策課からの説明は、以上でございます。

○江藤教育政策課長 教育政策課でございます。

68ページをお願いいたします。

(4)国際スポーツ大会に係る教育委員会等の取り組みについて御説明いたします。

普及活動でございますが、これは、この資料の8ページ、18ページと重複しておりますので、割愛させていただきます。

イ、機運の醸成に向けた取り組みを graag 願います。

①の、諸会議における情報提供につきましては、さまざまな機会を捉えて、また各地を訪問して、大会の基本情報やイベント等の紹介を行っております。今後も、継続的に行ってまいります。

69ページをお願いします。

⑤第二高校美術科による両大会のPR壁画制作につきましては、熊本市市民病院新築工事現場のフェンスに設置されております。

70ページをお願いします。

一校一國運動の取り組みをお願いいたします。

①の、教育委員会チーム会議につきましては、定期的開催し、教育委員会の各課、私学振興課が連携し、今後のスケジュールや大会の事前・事後学習について、情報共有を図っております。

②の、学校観戦調査につきましては、現在、県内全ての学校を対象に実施中でございます。

③の、教育委員会ホームページの活用につきましては、よりよい授業実践に向けた学習指導案や教材等を、教育委員会のホームページに掲載しております。

今後も、一丸となって取り組みを進めてまいります。

以上でございます。よろしく申し上げます。

○奥村警備第二課長 警察本部でございます。

す。

71ページを graag ください。

ここに記載のとおりでございますが、まず、これまでの取り組み2点のみ補足させていただきます。

まず、③交通の安全と円滑の確保ということですが、おもてなしの交通環境整備事業、昨年9月補正でつけていただきまして、それにより現在、交通流用の監視カメラでありますとか、あるいは来日外国人を意識した標識への英語並記等を進めておるところでございます。右下の写真が、横断歩道の押しボタンの英語並記です。実物を graag いただければと思います。

今一つが6番、繁華街対策の推進でございます。

これにつきましては、県条例に加えまして熊本市客引き行為等の禁止に関する条例、これが12月27日公布の運びとなりました。これは、指定地域におきます客引き、客待ち等の禁止等を内容とするもので、罰則、両罰規定もでございます。

取り組みは、以上でございます。

今後の予定でございますけれども、次のページを graag ください。

こちらも2点、補足させていただきます。

まずは、①安全・安心な大会開催に向けた警備対策でございます。

これにつきましては、現在、装備資機材をお願いしているところでございますが、これにつきましては車どめでありますとか、ウェアラブルカメラ等、しっかり習熟化する訓練を行って、本番に有効な配置等を考えてまいりたいと考えております。また、本番に向けまして、県警の今回の異動において、専従の警部を警備課の中に配置することとしております。

今一つは、6番、繁華街対策の強化です。

県の条例、市の条例、これによりまして、国内外の観戦者が安心して楽しめる繁華街を

つくっていくために、こちらも警察本部に専従の室が設置される予定でございます。繁華街における街頭活動や取り締まり等を実施してまいる所存です。

警察本部からは、以上でございます。

○淵上陽一委員長 以上で執行部からの説明が終わりましたので、質疑に入ります。

まず、(1)2019女子ハンドボール世界選手権熊本開催に関する件について、何かありませんか。

○城下広作委員 ちょっと声が聞きにくいかもしれませんが。

冒頭に、街灯バナーのことについて、おわびがあったと思います。そのことで、ちょっと確認したいんですけど。

これは、もともと委託で広告代理店か何か頼まれたんですか。

○寺野政策審議監 広告代理店に委託して、上がってきたものを我々も確認してから出したところでございます。

○城下広作委員 そのときに、県としてはこの表現に対してはどういう感想が……。問題ないということで当然出したんでしょうけども、何かちょっと不安だなということは一応あったんですか。

○寺野政策審議監 全部で33のコピーがありまして、例えばほかのコピーですと「60分間ずうっとゴールダッシュです」とか、「ディフェンス練習はほぼぶつかり稽古です」とか、そういういろんなハンドボールの激しさと速さを伝えた中では、全体的に、これは特という異論は出なかったと思っております。

○城下広作委員 このバナーの2つを削除す

るということで、補足としては何か別に2つ上げたんですか。

○寺野政策審議監 はい。実は街灯工事で、電灯工事で4つ外したのがありまして、そのかわり2つを上げました。すでに外しております。

○城下広作委員 こういう世間から話題が挙がったときに、もともと提案した業者側はどういう反応だったんですか。

○寺野政策審議監 委託した会社のほうも、コンプライアンス担当が来まして、きちっと今後対策をやっていくということで、今もずっと全体の分析をやっているところでございます。内容の分析そしてネット上の分析をどうやっていくかということで、我々と議論しながら、きちっと対策をやっていこうという、彼らも腹を引き締めております。

○城下広作委員 ということは、その分析というのは、この表現がよかったか悪かったかも含めて分析をして、仮に、これがやっぱりちょっと落ち度だなとか、あまり好ましくなかったという場合には、謝罪だけで終わるのか。それともこれに関しての、まあ2つの削除だから、契約の分として一部、何かどうにかする、そういう考えはあるんですか。

○寺野政策審議監 我々のほうから事務局で発注して、最終的には事務局の責任で掲載したものです。我々がおわびの文書をホームページに上げました。業者に対しては、今後しっかりやっていこうということで、特段契約については、今後しっかりやっていくということで、引き続き業務を一緒にやっていきたいと思っております。

○城下広作委員 最後に、これを県が見たと

きに、ネットでは私は詳しく知らないけど、女性のほうから女性蔑視だとか軽視だということがあったけど、これ見られたときに県職員の女性の方は何か……見られた方はいたんですか。（発言する者あり）

1人ではなかなか……何人かで見るときには、そういう女性の意見も、見るような角度はあったのかということ聞きよるわけです。

○寺野政策審議監 これは当部の広報課というところでやっているんですけど、PRですので。担当は女性職員です。班長も女性職員です。議論の中に女性も入っています。つくったときには、熊本のハンドボール協会あるいは日本のハンドボール協会にも見てもらっています。選手も見てます。ただし、全体の中で、ハンドボールのルールあるいは、例えばバスケットと比べてラグビーと比べて表現がありますので、そのルールに間違いはないかというチェックが入っていますので、全体的にネット上の仕組みみたいな、特にそういう不適切な表現かという視点ではたぶん見ていないので、違和感はなかったんじゃないかと。男性も女性も見ています。

○城下広作委員 そうしたらネットでいろいろ、いろんな価値観があるから、もう皆さんの段階でそれでいいと思えば、それはそれで……。

○寺野政策審議監 不快だったという指摘は幾つかありましたので、それについては我々も真摯に反省して、おわびして下げて、今後きちんとやっていくというのが今後の方針でございます。

○城下広作委員 私は、これはいい、悪いと言っているんじゃないんです。私は、ハンドボールだけで見れば、ハンドボールの意味合

いでそれはおかしくないと思うし、違う形で見ると人は違うほうに思うかもしれないけど。ただ社会にはいろんな角度で見るとあるということだから、そういう注意が、ああ我々もいるのかなと、自分に置きかえたときは、まあ一つの教訓だなと思って。

物事は何でも進めるときは、いろんな角度の考えがあるということはやっぱり頭に入れておく、用心しておかないとという教訓だったかなというふうに自分でそう思っている。

○寺野政策審議監 おっしゃる点、多様な視点を持って検証しながら、こんなことのないように、しっかりやっていきたいと思えます。（「関連して、よかですか」と呼ぶ者あり）

○池田和貴委員 すみません、今のに関連してなんですけど、本当、多種多様な考え方があるんで、いろんな意見が出てくることはいいと思うんですね。あとは、それが出てきたときどう対応するかという、リスクをどういうふうにするかという、その皆さん方で解決するような態勢をとられているかとかですね。その内容自体の批判もあるんですけど、よく見てみるとその後の対応の問題でどんどんどんどん大きくなっていく、例えば日大のアメフトなんか、やっぱりそういうところがあったと思うんですね。

ですから、その何か起きたときの後のきちんと態勢をどうするのかで、1回起きたことがさらにそこから広がっていかないようにどうしていくかとか、やっぱそういう視点が必要なんだと思うんですけど、そういうところはもうどういうふうにか、組織的にはもうどういうふうにかやろうとされているんですか。

○寺野政策審議監 例えば、今後もPRとかやっていますので、担当している部で言えば、うちの部では広報課だけなんですけど

も、これだけではやっぱり固まった視点で見えてしまいますので、関係のない第三の課に見てもらい、複数の課、それと人権を扱っている県庁内あるいは男女共同の視点を持っている課もいらっしゃると思いますので、相談している研修もやりますしアドバイスも、相談してやっていきたいと思っております。

○池田和貴委員 わかりました。しっかりそこをやっていたかと思えますし、あとはその対応のスピード感ですね、スピード感をおくれることによって、さらにまた別の形での批判も出てくると思いますので、ぜひそこは、何か起こったときの後の処理をどうするかということ、ぜひ準備を怠らないようにしていただきたいということで要望しておきます。

以上です。（「関連でいいですかね」と呼ぶ者あり）

○松田三郎委員 言うまいかなと思っておりましたが、要望ですけど。

それぞれの委員からありましたが、余りいろいろな意見があるからと合わせ過ぎて、これからはPR、宣伝なさっているとか、各課、人権のほうとか男女のあれに聞くと、非常につまらない何か、印象にも残らないような宣伝になってしまうように萎縮してしまうと……。皆さんなりあるいは外部に発注なさる場合に、この例の良しあしは言いませんけど、何かこう萎縮する材料になると、ちょっとまた今後のですね、お金を使っていくPRでしょうから、ある意味では今度の物議を醸したというのは、ちょっと興味を持っていただく契機にもなるかと思いましたが、今後は多少は遊び心は残しながら、効果が上がるように、萎縮せずにどんどんやっていただきたいと思えます。

以上です。（「関連です」と呼ぶ者あり）

○西聖一委員 対応は早かったから何とかあったかなと思っておりますけど、そもそも33もそういうキャッチコピーをつくる必要があったのかなというのと、それと今、熊本市のあれで張ったみたいですが、ほかの会場にはこのバナーは張ってないんですか。

○寺野政策審議監 そもそもバナーをつくりましたのは、まだまだハンドボールについて認知度が低いなど、ルールも御存じない方がいらっしゃるということなんで、それを断つためにいろんなキャッチコピーを出した数が結果的に30幾つになったということでございます。

熊本市鶴屋前から、ずうっと市役所前までバナーをかけております、両側に。一番目抜き通りで人目につくということで、そういう掲示をさせていただいたところでございます。

○西聖一委員 33という微妙な数だし、鶴屋前もちろんメインですけど、ほかの大会会場こそ、これありますよという周知するのがバナーの意味じゃないかなと思うんですが、これから張っていくんでしょうけど。それは違うんですか。

○寺野政策審議監 大会会場は、常に試合があつて人通りがあるかということ、違うと思えますので、今回は一番人通りがあるところに出させていただいていると。今後、順次そういうことも考えていきたいと思っております。

○西聖一委員 考えているということで、いいんですかね。

○寺野政策審議監 考えてまいります。

○淵上陽一委員長 バナーの件は、もうよろ

しいですか。

ハンドボールの件について、何かございませんか。

なければ、次にラグビーワールドカップ2019熊本開催に関する件について、質疑ありませんか。（発言する者あり）

○松田三郎委員 ちょっと単発の報道でしたけど、何諸島ですか、あのへん。（発言する者あり）今全国組織、新しいリーグのことでボイコットの可能性もとかいうのが1回出て、その後、余りフォローしていませんけど、詳しい橋口先生に聞きますと、その可能性は余りないだろうと思えますということでした。

その後、何か情報が入っていれば、ちょっと教えていただければと。

○寺野政策審議監 ワールドラグビーが新しいネーションズのリーグをつくりたいということで、シックスネーションズに加えましてオーストラリア、ニュージーランド、アルゼンチン、これに日本とアメリカを加えようかということで、南太平洋のフィジー、サモア、トンガが反発しているという状況でございます。

ワールドラグビーに対しましては、その3か国が正式に、この9月の大会を不参加にするという正式表明は全くなされてないようでございます。一説にはおっしゃったように、今後のための政治パフォーマンスじゃないかということまで情報をいただいております。正式なボイコットの、出ませんという通知はやってないようでございます。

○淵上陽一委員長 ほかに質疑はありませんか。

なければ、次に2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関する件について、質疑はございませんか。

○西聖一委員 農政部にお尋ねします。

G-GAPの関係で熊本県産品を売り込むという話が進んでいますけど、ほかにくまモンギャップの話が出ましたが、まあふやしていくことはいいんですけど、これはちゃんと東京オリンピックの事務局に採用される——シェアでどれくらいまでいくのかなというのと、大会が終わった後もG-GAP、くまモンGAP残っていくんですけど、その生産者の販売ルートが何かいい方向にできていくかをちょっとお尋ねしたいんですけど。

○徳永農林水産政策課審議員 今進めておりますGAPにつきましては、オリンピック・パラリンピックの選手村の調達基準を目指したものを、それを目的にしております。その後につきましては、国際水準のGAPを目指していくというところで進める予定にしております。

○西聖一委員 その水準になることによって、輸出の幅が広がるというふうに考えていくということで理解していいんですか。

○徳永農林水産政策課審議員 輸出も含めまして、国際水準のGAPを進めていくと考えております。輸出だけではなく、国内での流通につきましても、最近ではGAPの国際水準というのが基本になりつつありますので、そこも見ながらということを考えております。

○淵上陽一委員長 ほかに質疑はありませんか。

なければ、次にIV、国際スポーツ大会の成功に向けた取り組みに関する件について質疑はありませんか。

○高野洋介副委員長 今ハンドボールの女子の日本リーグがあっていると思えますけど

も、もうリーグ戦が終わって、今度の土日ぐらいにプレーオフがあると思いますけども、たぶんそれが終わったらもう日本女子の大きな大会自体はなくて、そのままもう日本代表を選考して、それでまた合宿したりとかという形になると思いますけども、恐らく4チームぐらいのプレーオフになるのかなと思うのですが、今度のプレーオフの会場にPRはどういったことを考えていらっしゃるのでしょうか。

○寺野政策審議監 我々が参りまして、くまモンを出しましてのPRをしますし、知事、市長あたりに行ってもらいまして、あるいは八代亜紀さん、アンバサダーにお願いしていますので、いろんな作曲とか作詩をイメージしてもらうために、大会を感じていただいて、その中で今後の取り組みに向けたようなアイデアとか取り組みができるような感じで今準備を整えているところでございます。

○高野洋介副委員長 要望ですけど、恐らく4チームぐらいのプレーオフだったら、それぞれのチームの関係者また一般のファンの方々たくさん来られますし、そこをターゲットにして、今度の世界選手権も来られると思いますので、熊本の観光とか魅力とかというのをPRしながら、旅行会社とも打ち合わせしながら、そこら辺はきめ細かくやったほうがいいと思いますので、ぜひ要望をしておきます。

○内野幸喜委員 すみません、55ページの観光物産課になりますけれども、ラグビーワールドカップ期間中等のイベント民泊の実施ということで、このイベント民泊のことを詳細にお聞かせいただければと思うんですが。

今、例えば民泊、エアビーアンドビーとかいろいろありますよね。ああいうところに登録しているところとかがあったりとかするん

ですけども、それとはまた別に、今そういうことをやってないところも手を挙げて、イベント民泊実施しますか、とかやるのか、例えば、そういったところをちょっとお聞かせいただければと思います。

○上田観光物産課長 観光物産課でございます。

まず、イベント民泊自体のやり方ですけども、大体、民泊自体は住宅宿泊事業法で、事前に届け出をやって、それである程度、現場の検査なんかも経て、それからエアビーアンドビーなんかでの募集をかけるということになります。

ただ、イベント民泊自体は、そういった届け出とかが不要なものでございます。

そのイベントをするときに、一時的に宿泊施設が不足する場合の1泊ですとか2泊ですとか、ごくごく限られた期間になってまいります。

具体的には、まず手続としては、自治体がまず、このイベントのために宿泊施設が不足するので、イベント民泊を開始しますという宣言といいますか公表いたしまして、それから募集をかけて、それで限られた日数、いろんな基準を少し検査とかあるんですが、それは抜かした状況で、いわばホームステイ的な感じでやってもらうと。

で、その間の安全とか何とかは、基本的には、専門の委託業者がありますので、取り扱いについての留意点とかあるいは宿泊の管理、それと精算の手伝いですね、そういったものもやっていただくというような形になります。

○内野幸喜委員 あと、このイベント民泊は県がいろいろ声かけるわけですよ。そうしたときに、やっぱり県内のホテル・旅館業の方々にも、ちゃんとそこは説明しておかないと、県が主導して殊さら何か民泊を全面的に

やるというのも変な話なので、そこは説明とかはしていただきたいなというふうに思います。

○上田観光物産課長 ちょうど昨年の春先だったと思いますが、各方面に……。住宅宿泊事業法の施行が6月でしたので、その前に、安易にその旅館業法なんかのハードルを下げた住宅宿泊事業法の運用をしてほしくはないというような要望もありましたので、それを踏まえていろんな旅館業組合の会合ですとか、あるいは観光なんかでお集まりになった席で、イベント民泊の実施についての制度の説明とか、御理解を得るためのことをやってまいりました。

今、来年度予算を要望しておりますので、年度が変わったときにはまた改めてイベント民泊の期間ですとかやり方ですとかを改めて周知をして御理解いただきたいというふうに思っております。

○淵上陽一委員長 ほかに質疑は。（「要望です」と呼ぶ者あり）

○西聖一委員 3月3日にすばらしい大会ができて、いろんな団体との交流ができたんですけど、もうお聞きになっているかもしれませんが、県の文化交流協会が非常に、待っているけどなかなか連携が取れてないみたいで、もっともっとPRのために協力したいということもいっていたので、できればそういう団体も活用してやっていただければなと思いますので、よろしくをお願いします。

○淵上陽一委員長 要望でよろしいですか。

ほかに質疑はございませんか。

なければ、これで質疑は終了いたします。

その他として、何かありませんか。

なければ、次に(5)付託調査事件の調査終了について、お諮りをします。

本委員会は今回をもって付託調査事件の調査を終了し、その任務を終了することとし、会議規則第84条の規定に基づき、議長に報告するものとしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○淵上陽一委員長 異議なしと認めます。それでは、本委員会は今回をもって終了することに決定いたします。その旨、議長に報告することといたします。

これをもちまして、本委員会の審議を終了いたします。

午前10時58分閉会

○淵上陽一委員長 ここで、本日は最後の委員会でございますので、一言御挨拶をさせていただきます。

この1年間、高野副委員長の協力を得まして本委員会を進めてまいりましたが、委員の皆様方には熱心に御審議いただきまして、まことにありがとうございました。

また、小原部長を初め執行部の皆様には、円滑な委員会運営に御協力いただき、厚く御礼を申し上げます。

本委員会は、計4回の審議のほか、昨年12月に女子ハンドボールアジア選手権の運営状況視察、観戦を行いました。迫りつつある2大会本番に向けて有意義な活動ができたのではないかと思っております。

今回の審議においても、誘客、施設整備、大会運営、おもてなしや、経済や教育上の波及効果等さまざまな観点から活動に論議を重ねてまいりました。これから半年余り我々議会も、執行部や地域関係者の皆様とともに、これから一つ一つ課題に取り組み、大会の成功に向けて知恵と力を傾注してまいりたいと思います。

最後に、各委員並びに執行部の皆様のますますの御健勝と御活躍をお祈り申し上げ、閉会に当たっての御挨拶にかえさせていただきます。

ます。

続きまして、高野副委員長からも一言御挨拶をお願いします。

○高野洋介副委員長 この1年間、淵上委員長を初め委員の皆様方の御支援・御協力によりまして、副委員長としての任を果たすことができました。まことに、ありがとうございました。

執行部の皆様方にも、丁寧な説明や答弁、またアジア選手権での視察受け入れなど、真摯に対応していただきましたことに、重ねて感謝、御礼申し上げます。

私自身も、この特別委員会が設置されて以来4年間、委員としてかかわらせていただきまして、また昨年度から副委員長もさせていただきました。

先ほど冒頭に小原部長がおっしゃいましたが、課題があるのは当然だと思います。その課題をどうやってみんなの力で乗り越えていくか、また一番の目的は国際スポーツ大会を成功に導くことが我々の務めだというふうに思いますので、これからもしっかりと私たちも協力しながらやっていきたいというふうに思いますので、執行部におかれましては皆様ますます御多忙になるかもしれませんが、体に気をつけられて今後とも御活躍を心より祈念申し上げまして、感謝と御礼を申し上げたいと思います。

ありがとうございました。

○淵上陽一委員長 ありがとうございました。

これで終了いたします。

午前11時00分

熊本県議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する

国際スポーツ大会推進特別委員会委員長